

あさひはのぼる

～旭高校 校長室通信～

第1号

平成27年11月5日

校長 古谷康司

あさひはのぼる

育てたい生徒像

つねにひとつ上を目指す生徒

朝に太陽が昇るのは、誰にとってもあたりまえのことです。

旭高校は、ひとつ上を目指すのぼり続けています。

「あさひ(高校)はのぼる」が、あたりまえとなるように、タイトルをつけました。校長室から旭高校が、のぼっていく様子、特に中学生とその保護者の方には、旭高校の特色をわかりやすくお伝えします。

旭 悲願初優勝

女子バスケットボール部が、県高校秋季大会で初優勝し、

「ウインターカップ」の出場を決めました。(12月23日から東京体育館)

部員の涙(嬉しさと、4年連続決勝で敗れた先輩を思ったのか)を見て、目頭が熱くなりました。人を育てるとい部の方針のもと、挨拶ができる気持ちのいい生徒が育っています。

旭高校の特色

挨拶ができる気持ちのいい生徒

平成27年度神奈川県立学校の児童・生徒表彰

旭高校から2つの取組が認められました。

この表彰は、新たな取組みや困難な課題等に果敢にチャレンジしたもの、地域・社会に顕著な貢献をしたもの、他の模範となるようなボランティア活動を行ったものなどの視点で選ばれます。

アサヒカップ

26年度表彰

バスケットボール部とサッカー部が地域の中学生を招いて行う交流会。

ビリーフ

27年度表彰

いろいろな部が交代で三ツ境養護学校に訪問して交流。その都度各部が内容を企画している。

復興支援

27年度表彰

サッカー部による気仙沼の少年サッカーチームとの交流及び復興ボランティア活動。

部活動

ボランティア

小学校防犯教室

〇〇年度表彰

学習クラブ

〇〇年度表彰

地域防災

〇〇年度表彰

このように表彰に値する取組を行っています。

これらの取組が継続され、旭高校の特色となることを期待しています。